

## 実施目的

甚大な被害が想定される多摩直下地震は2012年4月に策定・発表された「首都直下地震等による東京の被害想定」によると30年以内に70%の確率で発生すると予測されております。2019年度の令和元年東日本豪雨などの風水害に加え、2020年度には新型コロナウイルス感染症が流行し、2021年度も引き続き避難施設での感染症対策が求められており、市民の災害に対する危機意識も高まっています。

過去の災害の例からも行政機関の力だけでは大規模災害を乗り越えることは極めて困難であるため、市民、関係機関と連携し「自助」、「共助」の更なる充実を図る必要があります。

## 訓練想定

地震発生日時：2021年10月17日（日）午前9時00分  
震源：多摩地域直下（震源の深さ約20km）  
規模：マグニチュード7.3（町田市内の震度は6強を観測）  
被害状況：停電、断水、通信障害などのライフラインの被害をはじめ、建物倒壊や火災により多くの人的被害が発生。市民は公園等への一時的な避難を開始し、自主防災組織は初期消火、救出救助、避難行動要支援者の安否確認を実施。自宅倒壊等の被害にあった被災者は、自主防災組織ごとに避難施設への避難を実施。

## 重点項目

- 重点項目1** 感染症対策を講じた避難施設開設訓練の実施
- 重点項目2** 避難施設指定職員からの情報収集・伝達訓練の実施
- 重点項目3** 地域団体による要配慮者安否確認・避難支援訓練の実施

## 訓練日時・会場・内容

訓練日時：2021年10月17日（日）午前9時00分から午前11時30分まで

## 1 メイン会場 【鶴川地区】

(1)	震災演習	鶴川第三小学校	市、消防団、消防署、警察署、自衛隊を中心とした関係機関による救助活動訓練及び医療関係団体による医療活動に係る訓練
(2)	避難施設開設運営訓練 <b>重点項目1</b>	鶴川第二中学校	自主防災組織、避難施設指定職員、学校関係者による、感染症対策を講じた避難施設開設訓練 ※「非常用発電機」や「屋内型簡易避難用テント」などの活用を予定
(3)	防災フェア	鶴川中央公園	防災意識の啓発を目的とした関係機関による展示及び体験コーナーの設置
(4)	情報収集・伝達訓練 <b>重点項目2</b>	町田市庁舎、各避難施設、市民センター	避難施設指定職員から寄せられる情報の集約及び情報伝達、また、各防災関係機関への支援要請に係る訓練
(5)	災害時医療救護訓練	災害拠点連携病院（調整中）	町田市地域防災計画で定められている災害拠点連携病院の相互の連携による災害時医療救護訓練
(6)	応急給水訓練	鶴川中央公園応急給水施設	給水施設からの給水訓練
(7)	帰宅困難者対策訓練	一時滞在施設（和光大学ポプリホール鶴川）	感染症対策を踏まえた一時滞在施設の開設訓練
(8)	二次避難施設開設・要配慮者搬送訓練	高齢者施設（調整中） 障がい者施設（調整中）	避難施設（鶴川第二中学校）と二次避難施設の相互連携による要配慮者の搬送訓練
(9)	要配慮者安否確認訓練 <b>重点項目3</b>	地域団体（地区社協）	避難ができない要配慮者を想定した地域団体（地区社協）との連携による安否確認・避難支援訓練

## 2 サブ会場

(1)	災害対策本部訓練	町田市庁舎	市各対策部による災害活動訓練
(2)	避難施設開設運営訓練	各避難施設	自主防災組織、市避難施設指定職員、学校教職員等による、大規模災害時における避難施設の開設運営訓練、及び避難施設から市災害対策本部への情報伝達訓練

## 3 その他の会場 避難広場（公園・グラウンド等）等の自主防災組織が選定した訓練会場での自主防災組織等が主体となり計画した訓練等